

DAIKUEI

Vol.91



NAKANOSHIMA
MUSEUM OF ART,
OSAKA

〔目 次〕

巻頭言（池田隆之会長）……………1	「優秀建設施工者」で協会推薦者受賞……………11
第49回 定時総会を開催……………2	空調設備ニュース……………12
令和4年度 事業計画……………4	衛生設備ニュース……………16
令和4年度 理事業務分担……………5	ボウリング大会を開催……………18
専門委員・青年部会等の紹介……………6	新型コロナ関連情報（その5）……………19
新入社員研修を実施……………7	告知板（賛助会員募集・行事予定）……………21
日空衛 第74回定時総会を開催……………9	暑中ご挨拶（会員一同）……………22
日空衛「実践スローガン」……………10	編集後記……………24
青年部会活動だより……………10	

(表紙写真)

大阪中之島美術館

2022年2月2日、水都大阪に新しく誕生した美術館。
大阪中之島の国立国際美術館に隣接して立地し、黒いシンプルでモダンな外観と、1階から5階まで吹き抜けの開放感あふれる屋内空間が特徴。
「大阪と世界の近代・現代美術」をテーマに、19世紀後半から現代に至る日本と海外の代表的な6000点超の作品を所蔵する。
気軽に立ち寄れ、市民に親しまれる美術館として、大阪の新たな名所として期待される。

ご

挨拶

拶



会 長 池 田 隆 之

会員及び賛助会員の皆様には、日頃より当協会の活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず、はじめに、世界中でいまだ猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになった方々にお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、近年、全国各地で頻発する地震などの災害により被災された方々に対して、心よりお見舞い申し上げます。

建設業界においては、比較的堅調な官庁工事に対して、ウクライナ情勢の影響もあり、マンション、ホテル等、民間や海外工事で不透明な状況となっております。

そのような中、国土交通省は、令和4年度予算において、約5兆2千5百億円に上る前年度並みの公共事業費の確保を図るなど、社会資本の整備に寄与するとともに、安全・安心で豊かな国民生活の実現に資することが期待される所です。

他方、昨今の原材料費等の高騰の状況を踏まえ、国土交通省としては、特に民間発注者団体等に対して、原材料費等の取引価格を反映した適正な請負代金の設定や支払い条件の改善、適正な工期の確保がなされるよう協力要請を行った所です。

建設業界における「働き方改革」の推進に関しては、長時間労働の改善に向けた生産性の向上への取り組みが急務となっております。

このため、ICTの活用による施工の省力化技術の普及とともに、BIMの普及拡大の取組は必須であります。

そこで、国土交通省においては、官庁営繕事業におけるBIMの効率的・効果的な活用を試行するとともに、設計段階から施工、維持・管理に至るまで、一貫してBIMの活用・促進が図られるよう、鋭意、検討が進められています。

一方、我が国は、2050年「カーボンニュートラル」（二酸化炭素等温室効果ガスの排出量実質ゼロ）等、グリーン社会の実現に向けて、住宅・建築物においても、更なる省エネルギー化に向けた取り組みが急務であります。

このため、国土交通省においては、2025年度以降に新築される全ての住宅・建築物に対して、断熱性能やエネルギー消費基準などの省エネ基準を義務化する改正建築物省エネ法が、6月の通常国会で可決・成立した所です。

空調衛生工事業界としましても、「脱炭素社会」の実現に向け、省エネ・省CO₂の最先端技術を駆使した「ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」の普及促進等、先導的役割を担い、業界としてのプレゼンスを更に高めていく必要があります。

そのためにも、当協会は、空調衛生工事業が魅力ある産業であることをこれからも発信してまいります。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご発展とご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

第49回定時総会開催

設備業界の魅力を発信し 脱炭素社会の実現に向け、先導的役割を推進 令和4年度の事業計画・予算などを決定



一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会の第49回定時総会は5月12日（木）、大阪市中之島のリーガロイヤルホテルで開催し、諸官庁との懇談会、配管技能コンテストの実施、青年部会及びなでしこ設備会による各種研修事業の実施等、令和4年度の事業計画を決定した。

定時総会は定刻午後3時30分、林寿二専務理事の司会で始まり、総会出席者数が定款第20条の規定の定足数を満たしているため、本総会が有効に成立していることを報告した。

続いて、挨拶に立った池田隆之会長は、「働き方改革の推進には、ICTの活用とBIMの普及・拡大が必須。また、脱炭素社会の実現に向け、Z

EBの普及促進等の先導的役割を担い、業界としてのプレゼンスを高めていく。」と強調した。

定款第19条の規定により会長が議長に就任する旨を述べた。

定款の規定に従い、池田会長が議長に就任し、池田議長は定款第26条の2の規定に基づき議事録署名人として、下記の両名を指名し、会員に諮ったところ全員異議なく了承したため、両名を議事録署名人に指名した。

議事録署名人 後藤 逸文

同 中村 淳一

両名はこれを了承した。

続いて、議長 池田隆之は、本日提案の議案内容の説明について、議事進行の都合上、議事次第の順序を次のとおり一部変更したい旨申し出た。

第1号議案「令和3年度 事業報告の件」と第3号議案「令和4年度 事業計画（案）の件」を委員会ごとに説明し、次に第2号議案「令和3年度 決算報告の件」、第4号議案「令和4年度 収支予算（案）の件」は事務局より一括して説明を行い、その後、監事から監査報告を行った後に、



挨拶する池田会長

議案ごとに順次諮っていききたい。

以上について議長が会員に諮ったところ全員異議なく了承された。

議事審議の経過と結果

第1号議案「令和3年度事業報告の件」

第3号議案「令和4年度事業計画（案）の件」

各委員会の担当理事が、議案書に基づいて事業報告の件、事業計画（案）の件をそれぞれ説明した。

総務委員会 前田隆司理事

経営委員会 森田 明理事

広報委員会 木村之彦理事

技術委員会 西岡 毅理事

労務委員会 若林尚史理事

第2号議案「令和3年度決算報告の件」

第4号議案「令和4年度収支予算（案）の件」

林専務理事は議案書に基づいて、第2号議案、第4号議案を説明した。

令和3年度正味財産増減計算書に基づく決算報告は

経常収益	計	40,737,566円
経常費用	計	29,225,577円
当期正味財産増減額	計	11,050,289円
正味財産期末残高	計	57,156,462円

となる旨を報告した。

次に、令和4年度収支予算（案）について、経常収益計は、42,740,544円、経常費用計は、40,387,960円、予備費1,000,000円を計上した旨を説明した。

「会計監査報告」

金子達哉監事は、令和3年度決算報告について、会計に関する帳簿等関係書類を監査の結果、適正に処理されていることを認める旨を報告した。

池田議長は、前もって承認を得たとおり、第1号議案から第4号議案までを順次会員に諮ったところ、すべて全員異議なく承認された。

第5号議案「役員選任の件」

池田議長は、令和2年5月14日に就任又は再任した現役員及び令和3年5月13日に就任した現役員が定款第31条の規定により、本定時総会の終結

の時をもって任期が満了するので、定款第28条の規定による新役員の選任を行いたい旨を告げ、その選任方法を会員に諮ったところ、議長に一任されたので、議長は役員選考委員として次の4名を指名した。

株式会社テクノ菱和大阪支店 鈴木俊夫

東洋熱工業株式会社大阪支店 竹田法正

新菱冷熱工業株式会社大阪支社 江木 毅

新日本空調株式会社大阪支店 上杉晴一

池田議長は、選考委員による別室での協議のため暫時休憩する旨を述べた。

小憩後、選考委員による選考結果を受けた議長は、新しい理事22名と監事2名の役員候補者を次のとおり発表した。

◇理事

池田隆之、上杉晴一、江木 毅、木村之彦、後藤逸文、城口俊雄、鈴木俊夫、竹田法正、辻、武寿、中村淳一、西岡 毅、林 寿二、福地文雄、福原保豊、前田隆司、森田 明、若林尚史

(以上再任)

赤松孝宏、荒井泰徳、勝野耕治、平地秀行、松本晋一

(以上新任)

◇監事 今井敏之、金子達哉 (以上再任)

池田議長は、役員候補者について会員に諮ったところ、全員異議なく承認された。

以上で第49回定時総会の議事が全て終了したので、池田議長は、午後4時20分閉会を宣言した。

総会終了後、臨時理事会が開催され、会長、副会長、専務理事の選任が行われた。

会長には、池田隆之理事が再任された。副会長3名には、城口俊雄理事及び福原保豊理事が再任されるとともに、若林尚史理事が労務委員長から就任した。専務理事には、林 寿二理事が再任された。また、理事の業務分担（5ページに掲載）が決められた。

令和4年度 事業計画

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

総務に関する事業

1. 総会及び新年交礼会等の開催
2. 叙勲、褒章並びに大臣表彰等の受賞候補、技能功労者等受賞候補者の推薦を行う
3. 会員従業員の福利厚生面の充実を図るため、スポーツ大会や各種行事を行う
4. 他の部門に属さない事業の運営を図る

経営に関する事業

1. 公共工事の直接発注拡大促進を図る
2. 事業推進のため、諸官庁との「懇談会」の開催、及び関係機関に対し建議陳情を行う
3. (一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会長会議及び近畿支部会を開催し、情報や意見交換を通じて連携を深める
4. 新技術、新商品説明会等を通じて、会員及び賛助会員との交流の促進を図る
5. 建設業団体との交流を通じて情報交換や協力関係を図る
6. 配管、ダクト、保温保冷の三団体との連携を図る
7. 青年部会及び、なでしこ設備会による各種研修会等を実施する
8. 社会貢献として、募金活動及び清掃活動を実施する

広報に関する事業

1. 機関誌「大空衛」を年2回発行する
2. ホームページの更新・充実により、情報発信を強化する

技術に関する事業

1. 衛生設備や空調設備の調査・研究、技術ニュースを発行する
2. 登録配管基幹技能者講習、登録ダクト基幹技能者講習の運営に協力する
3. 技能者養成及び未来の技能者育成を目指し、配管工、高校生・専門学校生を対象に、第12回配管技能コンテストを実施する
4. 配管技能検定試験の実技試験運営事務を行う

労務に関する事業

1. 労働災害防止及び労働安全衛生の意識高揚を図り、災害ゼロの明るい職場づくりを進める安全衛生大会を開催し、無災害の優良工事現場の表彰を行う
2. 労働災害の防止を目的に、安全管理活動の促進を図るため安全パトロールを行う
3. 大阪配管高等職業訓練校への助成を行う
4. (一社)大阪電業協会と合同で新入社員研修会を行う

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、上記事業の一部を中止する場合がある。

理事業務分担

令和4年5月

(一社)大阪空気調和衛生工業協会

会 長		池 田 隆 之	ダイダン株式会社大阪本社
副 会 長	総務・経営担当	※城 口 俊 雄	株式会社大阪城口研究所
副 会 長	広報担当	※若 林 尚 史	若林設備工業株式会社
副 会 長	技術・労務担当	福 原 保 豊	須賀工業株式会社大阪支社

1. 総務委員会

委 員 長		前 田 隆 司	株式会社前田商会
副委員長		○平 地 秀 行	鳳工業株式会社
理 事		竹 田 法 正	東洋熱工業株式会社大阪支店

2. 経営委員会

委 員 長		森 田 明	ダイダン株式会社大阪本社
副委員長		辻 武 寿	株式会社精研
理 事		鈴 木 俊 夫	株式会社テクノ菱和大阪支店

3. 広報委員会

委 員 長		木 村 之 彦	木村工業株式会社
副委員長		中 村 淳 一	ダイクウ株式会社
理 事		○荒 井 泰 徳	日比谷総合設備(株)関西支店

4. 技術委員会

委 員 長		西 岡 毅	株式会社朝日工業社大阪支社
副委員長		後 藤 逸 文	三建設備工業株式会社大阪支店
理 事		江 木 毅	新菱冷熱工業株式会社大阪支社
理 事		○赤 松 孝 宏	高砂熱学工業株式会社大阪支店

5. 労務委員会

委 員 長		※福 地 文 雄	柳生設備株式会社
副委員長		○松 本 晋 一	不二熱学工業株式会社
理 事		上 杉 晴 一	新日本空調株式会社大阪支店
理 事		○勝 野 耕 治	三機工業株式会社関西支社

専務理事		林 寿 二	(一社)大阪空気調和衛生工業協会
監 事		金 子 達 哉	株式会社三冷社西日本支社
監 事		今 井 敏 之	大阪ガス株式会社

(○)新任役員 ※業務分担の変更役員)

令和4年度 専門委員の紹介

安全労務専門委員

○安全パトロール ○安全衛生大会の企画・運営	新原 辰美 (新日本空調(株)大阪支店)	辻 高司 (日比谷総合設備(株)関西支店)
	宮地 直人 (株朝日工業社大阪支社)	堤 英治 (須賀工業(株)大阪支社)
	稲岡 栄治 (三機工業(株)関西支社)	

技術専門委員

○空調部会・衛生部会に分かれ、技術ニュースを発行	空調部会	益田 佳典 (ダイダグン(株)大阪本社)	辻 晴亮 (三機工業(株)関西支社)
		吉田 則章 (株朝日工業社大阪支社)	鹿子島 修 (高砂熱学工業(株)大阪支店)
		岩見 康秀 (新菱冷熱工業(株)大阪支社)	
	衛生部会	杉田 英人 (須賀工業(株)大阪支社)	小池 清隆 (大阪府立布施工科高等学校)
		平野 匠 (株西原衛生工業所大阪本店)	新保東輝彦 (株朝日工業社大阪支社)
		瀧口 佳典 (三機工業(株)関西支社)	原田総一郎 (大阪工業技術専門学校)

広報専門委員

○ホームページ管理、 機関誌「大空衛」の発行	終 彰 (株精研)
	堀内 浩史 (日比谷総合設備(株)関西支店)

経営専門委員

○経営委員会活動の サポート、府下市町村へ 分離発注の陳情等	長元 伸吾 (ダイダグン(株)大阪本社)
	溝畑 貴也 (株精研)
	石原 真典 (株テクノ菱和(株)大阪支店)

令和4年度 青年部会の紹介

会員 23 名

会 長	長元 伸吾 (ダイダグン(株)大阪本社)	
副 会 長	川崎 和徳 (須賀工業(株)大阪支社)	
〃	佐野 文則 (株大阪城口研究所)	
〃	岸田 佑介 (鳳工業(株))	
総 務 委 員 会	委員長 溝畑 貴也 (株精研)	定時総会、安全衛生大会、新年交礼会の運営
実 務 委 員 会	委員長 佐野 龍 (若林設備工業(株))	研修会 (会員向け・青年部会向け)
交 流 委 員 会	委員長 大東 一弘 (不二熱学工業(株))	野球大会、ボウリング大会の運営 レクリエーション活動
福 祉 委 員 会	委員長 土肥 孝輔 (株日設)	募金活動、日赤等へ寄付活動 クリーンUP

令和4年度なでしこ設備会の紹介

会員 13 名

会 長	坂本 明子 (ダイダグン(株)大阪本社)
副 会 長	脇 寿美 (株三晃空調大阪本店)

令和4年度新入社員研修を実施

経営者、先輩から幅広い知識習得

当協会は、毎年恒例となっております（一社）大阪電業協会と合同の令和4年度新入社員研修会については、今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ZOOMによるオンライン研修となりました。

講師は、両協会所属会社の経営者や経験豊富な熟練社員、入社数年の社員が担当しました。

講義内容は、社会人に求められる基本姿勢からビジネスマナー、営業の方法、安全知識、熟練社員の体験談まで幅広い分野に及び、受講した新入社員は、諸先輩が語るオンラインによる講義に熱心に聞き入っていました。

業務ご多忙の中、講師として担当下さいました皆様に厚くお礼申し上げます。

◇開催日時 令和4年4月6日（水）、7日（木）
両日のうち1日受講
10：00～17：00

◇会場 大阪電業協会会議室

◇受講者数 114名（内当協会8社16名）

◇◇◇当協会からの講師（敬称略）◇◇◇◇◇◇

【経営者による講話】

（素晴らしい人生を送るため）

木村工業(株)

代表取締役社長 木村 之彦

【3～5年目社員の講話】

（仕事の紹介、失敗談、仕事で大切なこと）

ダイクウ(株)

技術部 井上 まどか

【営業に関する講話】

（建設業における営業職とは他）

(株)大阪城口研究所

営業部営業課グループリーダー

佐野 文則

【工事に関する熟練社員の講話】

（現場代理人の責務、ICT ツールを活用した現場管理）

日比谷総合設備(株)関西支店

第1エンジニアリングサービス部技師

原田 邦治



木村工業(株) 代表取締役社長 木村之彦様



ダイクウ(株) 技術部 井上まどか様

日空衛 第74回定時総会を開催

建設キャリアアップシステムの利用促進に注力



日本空調衛生工事業協会（日空衛、会長長谷川勉氏）は5月24日、東京都千代田区の帝国ホテルで第74回定時総会を開催した。

今回は、昨年より出席者を拡大して開催。また会場に出席できない会員・賛助会員は、ライブ配信を視聴する形での参加となった。

新中期ビジョンの策定検討やBIMの活用促進に取り組む他、空調衛生工事業界のプレゼンスを高めるために会員が一致団結して取り組むことを申し合わせるとともに、令和4年度業界実践スローガンを決議し、これに沿って活発に協会事業を展開していくことを確認した。

長谷川会長



総会では、令和3年度事業報告・決算報告に続いて、令和4年度の事業計画・予算を決定した。

このあと、令和4年度業界実践スローガンを原案通り決議した。

また、総会で役員を選任を行い、総会後の理事会で長谷川会長が勇退し、後任に藤澤副会長が就任する等、第40期（令和4年度）の役員体制を決めた。

令和4年度業界実践スローガン

われわれ空調衛生工事業は、快適空間の創出と地球環境の保全を担う産業としての誇りを持ち、優れた技術と品質の確保及び「顧客満足度の向上」を最大の目的として、市場環境変化に対応する経営改革に取り組むとともに、空調衛生工事業界のプレゼンスを高めるため、一致団結して次のスローガンの実践にあたろう。

1. 省エネルギー及び省CO₂に積極的に取り組み、脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現とSDGsの達成に貢献しよう
2. 法令の遵守と企業の社会的責任を果たす事業運営を徹底しよう
3. 生産性の向上と適正な施工体制の確保に努めるとともに、未来を担う多様な人材の確保・育成を図り、「働き方改革」を推進しよう
4. 空調衛生設備の独自性や重要性をアピールし、直接発注（分離発注）等の適切な発注方式の推進と、許可業種区分「機械設備一式工事」等の実現を目指そう

青年部会 活動だより

青年部会 日本赤十字社に10万円寄付

協会青年部会（長元伸吾会長）は、協会行事や部会活動を通じて募った10万円を日本赤十字社に寄付した。



募金を手渡す辻理事（左）

この日本赤十字社への募金活動は「何らかの活動を通じて社会に貢献したい」という青年部会の発案で行われているもので、今回で13回目。

3月10日、当協会経営副委員長の辻武寿理事と長元会長ら青年部会4名とが大阪市中央区の日本赤十字社大阪府支部を訪れて寄付した。贈呈式では、辻理事から大江桂子事務局長に寄付金目録が手渡された。歓談では、辻理事は、「継続することが大事なので、これからも続けていきたい」と述べた上で、長引くコロナ禍やロシアによるウクライナへの侵攻など不安定な世界情勢の中、活動に尽力されている日赤関係者に対し、敬意を表した。それに対して、大江事務局長からは、「毎年、心のこもったご支援に心から感謝。皆様の気持ちをしっかり受け止め、大切にさせて頂く。」と感謝の言葉を述べた。

「優秀建設施工者」大阪府知事表彰

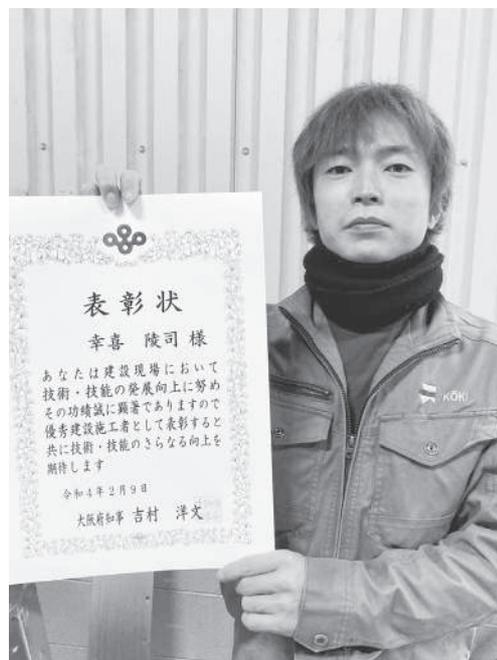
協会推薦の下村氏、幸喜氏が受賞

大阪府の令和3年度「優秀建設施工者」表彰式については、令和4年2月9日に大阪府庁本館5階の「正庁の間」で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止となりました。このため、各推薦団体に対して、今回受賞される25名（熟練工部門16名・青年部門9名）の表彰状及び記念品が大阪府から届けられ、当協会から推薦した2人が知事表彰を受けました。

同表彰は、平成6年度から行われているもので、当協会、大阪建設業協会などの建設関連団体が配管工、ダクト工、熱絶縁工、鉄筋工、左官工、大工、電気工など各職種の優秀施工者を推薦し、大阪府が表彰しているものです。当協会推薦については、近畿ダクト工事業協同組合所属企業の(株)樂の下村健氏が熟練工部門で、また(株)竹本設備の幸喜陵司氏が青年部門で、それぞれ大阪府知事表彰を受賞しました。



下村健氏



幸喜陵司氏

排煙設備について

○はじめに

排煙設備は、火災時に発生する煙を屋外に排出し、避難・消火活動を円滑に行うことを支援するために設置する設備であり、排煙機・排煙口・風道・電源などから構成される。代表的な法規として建築基準法及び消防法があるが、現在まで防火対象物の高層化・深層化・大規模化・複合化等に伴って顕在化した問題点に対応して、規定が改正されてきた。ここでは、現状使用されている排煙手法を紹介し、それらの機能や特徴について概要を説明する。

○通常の排煙方式

下表に、現在の通常の排煙方式を示す。

表1. 通常の排煙方式の概要

項目	自然排煙	機械排煙	機械排煙 (特別避難階段付室・非常用EV乗降口 ^付)
概略図			
原理	・煙の浮力を利用して排出	・排煙ファンで煙を排出	・排煙ファンで煙を排出
機能・特徴	・火災室の煙降下を遅らせる ・他室への煙の流出を抑制	・火災室の煙降下を遅らせる ・他室への煙の流出を抑制	・避難経路としての階段を煙から防護するために、排気要求性能を高めて火災が進行しても安全を確保する ・給気口により異常な圧力低下を防止する
必要設備	・排煙開口 ※開口面積：床面積の1/50以上	・排煙機、排煙風道 ※排煙風量：1m ³ /min・m ²	・排煙機、排煙風道、給気口 ※排煙風量：4m ³ /s(付室の場合) 給気口面積：1m ² 以上
法規	建築基準法	・S.45 令第126条の2	・S.44 告示1728号、S.45 告示1835号、 H.12 告示1435号(付室) ・S.45 告示1833号、H12 告示1466号 (非常用EV乗降口 ^付)
	消防法	・令第28条	・令第28条

○給気加圧による排煙方式

給気加圧による煙制御法に押出排煙方式と加圧防排煙方式がある。押出排煙方式は、平成12年告示1437号で制定された特殊な構造の排煙設備であり、自然排煙に機械給気を組み合わせた煙を押し出す方式であることから『第二種排煙』と呼ばれることもある。また、加圧防排煙方式は、平成21年に建築基準法及び消防法においてそれぞれ改定、制定された。避難時や消防活動時に重要となる消火活動拠点の遮炎条件(煙を押し返して守るべき部屋に煙の侵入を許さないための条件)を明確にしている。押出排煙方式と加圧防排煙方式のそれぞれについて概要を説明する。

表2. 押出排煙方式・加圧防排煙方式の特徴

項目	押出排煙(各室ごと)	押出排煙(複数室を経由)	加圧防排煙
概略図			
原理	・煙の浮力+給気による背圧をかけて煙を排出	・煙の浮力+給気による背圧をかけて煙を排出	・機械力により遮煙に必要な圧力差を形成し漏煙を防止
機能	・火災室の煙降下を遅らせる	・火災室及び付室の煙降下を遅らせる	・付室への煙の侵入を抑制
必要設備	・排煙開口、給気機 ※排煙開口面積 A_e : $A/550$ 以上かつ $A/60$ 以下 (A は当該室床面積) ※排煙風量: $1\text{m}^3/\text{min} \cdot \text{m}^2$ 以上かつ $550A_e$ 以下 (m^3/min) ※給気風量: $1\text{m}^3/\text{min} \cdot \text{m}^2$ 以上かつ $550A_e$ 以下 (m^3/min)	・排煙開口、給気機 ※排煙開口面積 A_e : $A/550$ 以上かつ $A/60$ 以下 (A は当該室床面積) ※排煙風量: $1\text{m}^3/\text{min} \cdot \text{m}^2$ 以上かつ $550A_e$ 以下 (m^3/min) ※給気風量: $1\text{m}^3/\text{min} \cdot \text{m}^2$ 以上かつ $550A_e$ 以下 (m^3/min)	・給気機、圧力調整装置 ※遮煙開口部(扉)の必要通過風速: $2.7\sqrt{h} \sim 3.8\sqrt{h}$ (m/s) h は開口部高さ (m) ※給気量: 遮煙開口部の開口幅を 40cm とした場合に、上記通過風速を維持し得るに必要な給気量
特徴	・排煙開口が比較的小さくて済む ・機械給気による火災性状への影響や隣接部への煙の押出し等、問題有り火災室には採用すべきでない ・火災発生の際の少ない部屋への採用は、当該室への煙の侵入防止効果があり有利	・給気室から火災室までの経路上の全ての室に自然排煙口を設けなければならない、実建物における採用は難しい。	・各扉位置での遮煙条件を考慮して給気量を決定する方法。圧力調整装置は圧逃しダンパを設置するのが一般的 ・消火活動拠点に煙が入らない ・盛期火災でも停止しない ・ダクトスペースの低減が可能
法規	建築基準法	・H.12 告示1437号第一	・H.21 告示1728号・1833号
	消防法		・H.21 告示第16号

上表のような給気加圧による排煙方式の場合、特別避難階段の付室における従来の機械排煙方式と比較して排煙風道やダクトスペースを小さく出来る等の利点があるが、その適用には注意を要する。

押出排煙方式は、機械給気により生じる圧力上昇で排煙口から外部へ煙を押し出そうとする方法のため、扉閉鎖時と扉解放時の状況は異なる。告示では扉閉鎖状態を前提とするため、避難のために扉が開放されたときは排煙量が減少する。また、給気流により煙が周囲空間へ拡散しないように計画には十分な注意が必要である。

加圧防排煙方式は、煙制御方式において他の自然排煙・機械排煙・押出排煙等の方式と異なる。加圧防排煙設備が遮煙(煙の侵入を防ぐ機能)に分類されるのに対し、後者は排煙(煙の排出により当該室の煙降下を遅らせる機能)に分類される。また、従来の排煙設備が排煙設備を設置する室のみを計画の対象としているのに対して、加圧防排煙方式は消火活動拠点の遮煙達成条件が明確であること、火災室から避難経路迄の空間を一体として圧力制御計画を行うシステムであることから、従来の煙制御方式に比べ安全性が高いとされている。消火活動支援としての加圧防排煙設備の設置イメージを下図に示す。

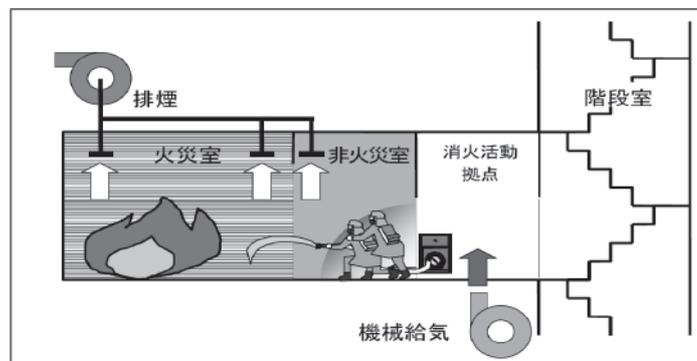


図1. 消火活動支援としての加圧防排煙設備の設置イメージ

- ※出典
- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1) 財団法人日本消防設備安全センター | 『加圧防排煙設備の設計・審査に係る運用ガイドライン』 |
| 2) 国土技術政策総合研究所資料 | 『排煙設備の規定に関する諸問題と対応方針』 |
| 3) 日本建築学会 | 『建築物の煙制御計画指針』 |

石綿含有建材の事前調査報告について

○はじめに

大気汚染防止法の一部を改正する法律が令和2年6月5日に交付され、建築物解体等における石綿の飛散を防止するための規制が強化されています。また令和4年4月からは一定規模以上の建築物等については石綿含有建材の有無にかかわらず、元請業者が事前調査結果を都道府県等へ報告することが義務付けられます。

○報告が必要となる工事

- ①解体部分の床面積が80㎡以上の建築物の解体工事
- ②請負金額が税込100万円以上の建築物の改修・補修工事
- ③請負金額が税込100万円以上の工作物の解体・改造等工事

注) 工作物とは加熱炉、ボイラー、圧力容器、配管設備^{*}、焼却設備、煙突、貯蔵設備、発電設備等
(^{*}建築物における給水・排水・換気・暖房・冷房・排煙設備等は除く)

○事前調査の実施方法

実施方法には設計図書による確認、現地目視による確認があります。

設計図書による確認は、着工日が平成18年9月1日以降であることを確認します。

(法改正でアスベスト全面禁止となっているので目視対象から外せる場合があります。)

現地目視による確認は、部材の製品情報などを確認します。目視ができない部分は、目視が可能となった時点で調査を行います。

事前調査で石綿使用が明らかにならなかった場合には分析の実施が必要です。

(石綿が使用されているものとみなして暴露防止措置を講ずれば、分析は不要)

○石綿事前調査結果の報告

一定規模以上の工事を行う場合は、石綿の使用の有無に関わらず、事前調査結果を元請業者などが都道府県、労働基準監督署に報告しなければなりません。

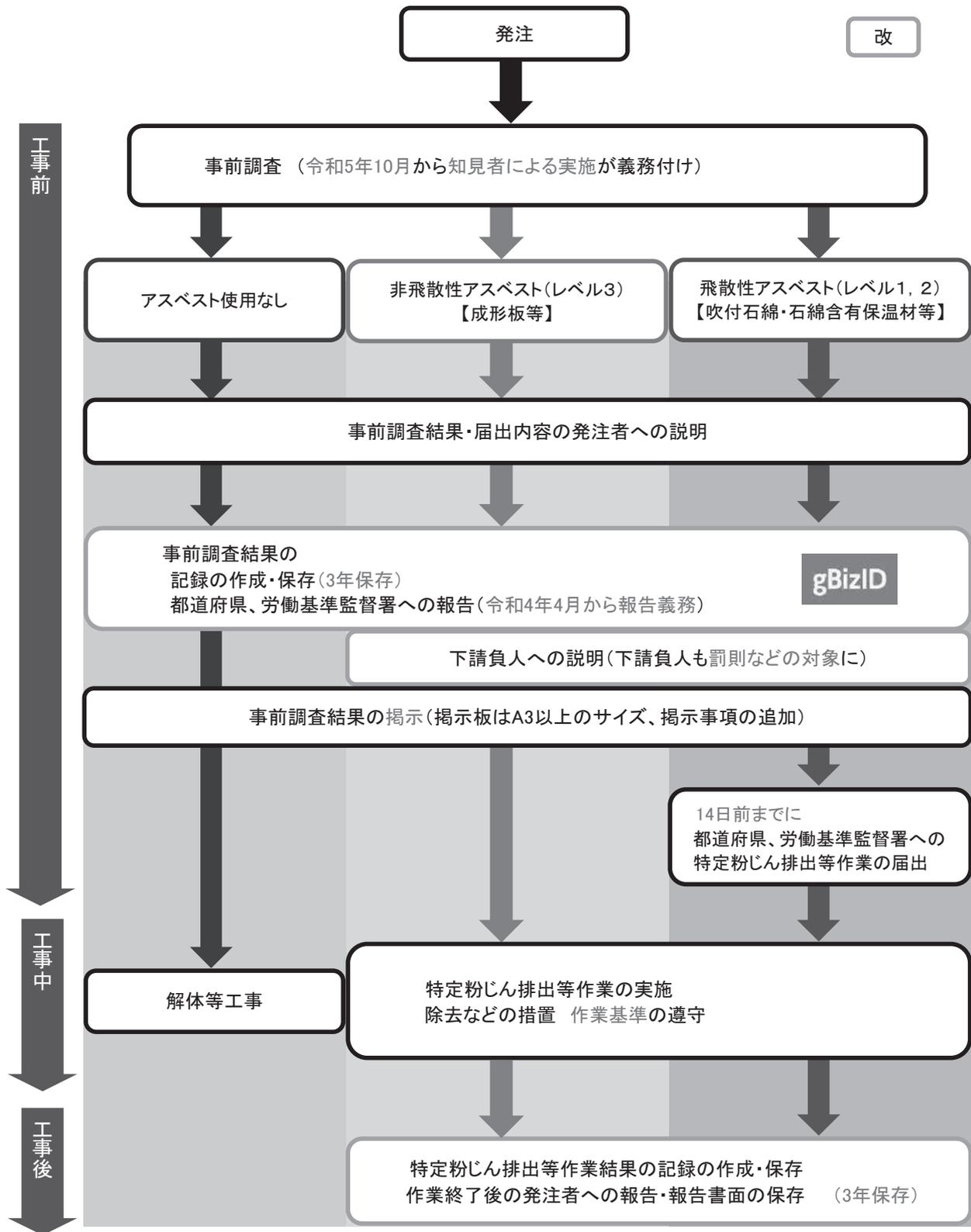
石綿事前報告は原則として「石綿事前調査結果報告システム」から電子申請を行います。

なお、石綿事前調査結果報告システムを利用するためには「GビズID」を取得する必要があります。

1つの申請で都道府県、労働基準監督署両方の申請が完了します。

URL : <https://gbiz-id.go.jp>

○建築物等の解体工事の全体の流れ



※出典:環境省 大気汚染防止法及び政省令の改正について

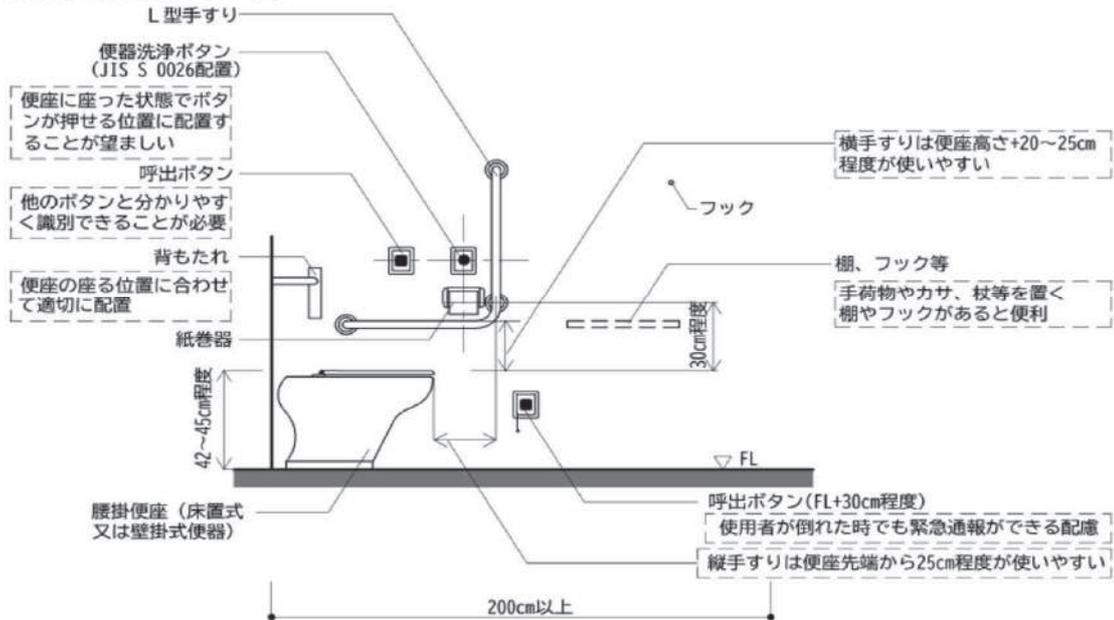
空調設備ニュース

- 編集 技術委員会空調部会
- 発行所 (一社)大阪空気調和衛生工業協会
 大阪市中央区安土町1丁目7-20 新トヤマビル3階
 TEL.06-6271-0175 FAX.06-6271-0177
 URL.http://daikuei.com/

●腰掛便器の座面高さの見直し

- ・便座高さは、車椅子から便座に移乗しやすいように配慮し、蓋のない状態で、42cm～45cm程度とする。
- ・座位をを保てない人の姿勢の安定に配慮し、便座には背もたれを適切に設ける。

<車椅子使用者用便房の例>



Topix

条例により、義務付ける対象の建築物の対象用途や規模を付加することができることとされており、地域の実情に即したバリアフリー化を推進している。

2020年9月時点でバリアフリー法第14条第3項に基づく条例を制定している都道府県は、岩手県、山形県、埼玉県、東京都、神奈川県、石川県、長野県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、徳島県、大分県、熊本県の14都府県である。また、市区町村では、東京都世田谷区、東京都練馬区、神奈川県横浜市、神奈川県川崎市、岐阜県高山市、京都府京都市の6市区である。

衛生設備ニュース

●編集 技術委員会衛生部会
 ●発行所 (一社)大阪空気調和衛生工業協会 大阪市中央区安土町1丁目7-20 (新トヤマビル3階)
 TEL. 06-6271-0175 FAX. 06-6271-0177
 URL. <http://daikuei.com/>
 E-mail. osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

令和4年度ボウリング大会

団体戦 (株)朝日工業社大阪支社チーム優勝

当協会恒例のボウリング大会は令和4年6月22日(水)に心齋橋サンボウルで開催しました。今回から初参加の賛助会員を含め27チームでの戦い(2ゲーム)となり、団体戦(チームは1社3名男女不問で結成、女子は1ゲームにつき30点加算)は、(株)朝日工業社大阪支社が見事優勝しました。個人戦(女子ボーナス点加算)では、長元伸吾様(ダイダン(株)大阪本社)が優勝しました。



優勝 (株)朝日工業社大阪支社チーム



準優勝 (株)西原衛生工業所大阪本店

試合結果

◇団体戦

- 優勝 (株)朝日工業社大阪支社
- 準優勝 (株)西原衛生工業所大阪本店
- 第3位 ダイダン(株)大阪本社 B

◇個人戦(敬称略)

- 優勝 長元伸吾(ダイダン(株)大阪本社)
- 準優勝 植田篤史(鳳工業(株))
- 第3位 田淵 愛(株)朝日工業社大阪支社)

◇ハイゲーム賞(敬称略)

- 男性 長元伸吾(ダイダン(株)大阪本社)
- 女性 田淵 愛(株)朝日工業社大阪支社)



第3位 ダイダン(株)大阪本社 B



前田総務委員長挨拶

新型コロナに関する各種情報

□ 新型コロナウイルスの“いま”についての知識（厚生労働省HPより抜粋）

Q1 現在、日本で接種できる新型コロナワクチンはどのようなワクチンですか。接種はどの程度進んでいますか。

A1 ○ワクチンと接種対象者

〈初回（1回目・2回目）接種〉

2022年7月1日現在、国内では、ファイザー社、武田/モデルナ社、アストラゼネカ社、及び武田社（ノババックス）の4社のワクチン接種が進められています。メッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンであるファイザー社のワクチンは5歳以上の方、同じくmRNAワクチンである武田/モデルナ社のワクチンは12歳以上の方が接種の対象です。ウイルスベクターワクチンであるアストラゼネカ社のワクチンは、原則、40歳以上の方が接種の対象^{（※1）}です。また、ノババックス社から製造技術移管を受けた組換えタンパクワクチンである武田社のワクチンは、18歳以上の方が接種の対象です。

※1 18歳以上の方も接種を受けることが可能な場合があります。

〈追加接種〉

2021年12月1日より、2回目の接種が完了した方を対象に3回目接種を実施しています。現時点では、ファイザー社のワクチンを12歳以上に、武田/モデルナ社のワクチン及び武田社のワクチン（ノババックス）を18歳以上の方に接種します。また、新型コロナウイルスに感染した場合の重症化予防を目的として、60歳以上の方、及び18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方や重症化リスクが高いと医師が認める方を対象に、2022年5月25日より4回目接種を実施しています。

○ワクチンの有効性について

新型コロナウイルスの発症等を予防する効果があります。オミクロン株が流行する前のデータではあるものの、接種から一定の期間において、発症予防効果は約70～95%^{（※2）}と報告されています。また、様々な研究から、オミクロン株に対する初回接種による感染予防効果、発症予防効果は、デルタ株と比較して低く、2回目接種後経時的に低下するものの、追加接種により一時的に回復することが示唆されています。オミクロン株に対する初回接種による入院予防効果については、デルタ株と比較して一定程度低く、2回目接種後経時的に低下するものの、発症予防効果と比較すると保たれており、さらに追加接種により回復することが示唆されています。

※2 コミナティ、スパイクバックス、バキスゼブリア、ヌバキソビッド添付文書より

○ワクチンの安全性について

接種後に注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱などが見られると報告されています。こうした症状の大部分は数日以内に回復しています。

Q2 新型コロナウイルスの変異について教えてください。

A2 一般的にウイルスは増殖・流行を繰り返す中で少しずつ変異していくものであり、新型コロナウイルスも約2週間で一か所程度の速度で変異していると考えられています。現在、B.1.1.529系統の変異株（オミクロン株）が日本を含む世界各地で主流となっています。新たな変異株に対して、引き続き、警戒していく必要があります。厚生労働省では、新型コロナウイルスのゲノムを解析し、変異の状況を監視しており、世界保健機関（WHO）や専門家とも情報交換を行い、こうした変異の分析・評価を行うとともに、国内の監視体制を強化しています。また、懸念される変異株事例が確認された場合には、検査や積極的疫学調査を強化して、感染拡大防止に取り組んでいます。

個人の基本的な感染予防対策は、変異株であっても、**3密（密集・密接・密閉）**や特にリスクの高い5つの場面の回避、マスクの適切な着用、こまめな換気、手洗いなどが有効です。

国民の皆様には、これまで以上に**感染予防対策の徹底**へのご協力をお願いいたします。なお、変異株についての最新の情報は、厚生労働省ホームページ新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードの資料をご覧ください。

■ 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードの資料等（第81回～）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00348.html

出典：厚生労働省ホームページ

告知板

○賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは、変化・拡大しております。

特に、「脱炭素社会」という新たな分野への取り組みは、当協会の会員と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。このような状況を踏まえ、当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員として入会されますと、当協会において新技術、新商品の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。

多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入
(4,000円×3月までの月数)

以後は年額(48,000円)を下記半期と下半期に分け、上半期は6月末
下半期は12月末に納入

入会手続 協会事務局までご連絡下さい。入会申込書を送付します。

○今後の行事予定

開催日	行 事	場 所
10月5日	安全衛生大会	建設交流館 8階グリーンホール
10月12日、13日、14日	野球大会	舞洲セレッソ スポーツパーク
11月(予定)	新技術・新商品説明会 (8月下旬以降、説明者募集予定)	
令和5年1月11日	新年交礼会	スイスホテル南海大阪
令和5年2月15日	(一社)日本空調衛生工事業協会 近畿支部会	シテイプラザ大阪

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、中止となる場合があります。

●●●●●●●● 機関誌「大空衛」の表紙写真の募集 ●●●●●●●●

広報委員会では、年2回発行の機関誌「大空衛」の表紙写真につきましては、建築物を中心としたまちなみ等をモチーフとした写真を、会員及び賛助会員の皆様から募集したいと存じます。

つきましては、応募をお考えの方は、事務局(06-6271-0175)までご連絡して下さい。

なお、採用された方には、僅かですが、掲載料をお渡しします。

広報委員会

2022年



暑中お見舞い申し上げます

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員 (77社)

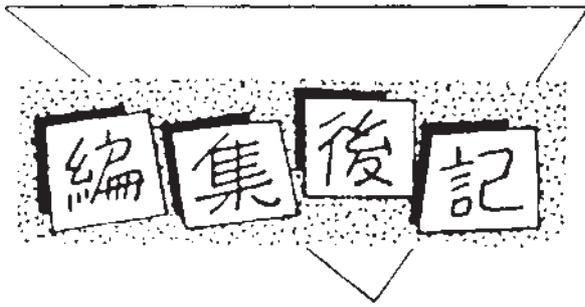
会社名	代表者氏名	会社名	代表者氏名
赤井設備工業(株)	上田 訓司	敷島煖房工業(株)	土橋 誠二
(株)朝日工業社大阪支社	西岡 毅	四國機械設備(株)	曾我 幸二
(株)上杉工業	上杉 嘉邦	島設備工業(株)	井上 暎夫
浦安工業(株)大阪支店	屋敷 直幸	主計管工(株)	中井 主蔵
(株)江坂設備工業	中村 昭一	城陽ダイキン空調(株)	竹下 洋文
エルゴテック(株)西日本支店	高木 登	(株)城口研究所関西支店	前田 史郎
オーディーエー(株)	織田 幸子	新日本空調(株)大阪支店	上杉 晴一
(株)大阪城口研究所	城口 俊雄	新菱冷熱工業(株)大阪支社	江木 毅
鳳工業(株)	齊藤 久克	須賀工業(株)大阪支社	福原 保豊
奥田商工(株)	奥田 康雅	(株)精研	上野 俊信
影近設備工業(株)大阪支店	東野 大輔	(株)千里技研	山田 正人
川崎設備工業(株)西部支社	田中 正義	第一工業(株)大阪支店	瀧内 秀一
川惣電機工業(株)	昆沙賀正道	第一設備工業(株)大阪支店	中村 秀樹
川本工業(株)大阪支店	菅野 公隆	大貴設備(株)	田窪大五郎
木村工業(株)	木村 之彦	ダイクウ(株)	中村 淳一
協伸工業(株)	森岡 由智	大晃設備(株)	高橋 孝治
(株)共進社工業所	山内 昇平	大成温調(株)大阪支店	柴垣 哲
享和設備(株)	竹本 和正	ダイダン(株)大阪本社	池田 隆之
クウケン(株)	杉本 知紀	大熱工業(株)	藪本 繁明
九櫻設備工業(株)	高安 秀幸	高砂熱学工業(株)大阪支店	赤松 孝宏
(株)クドウエンジニアリング	田浦 明敏	(株)タカネツ	高木 優
(株)ケンシヨウ	熱田 敏広	(株)竹本設備	竹本 太郎
五建工業(株)大阪支店	安田 実	田丸産業(株)	堀田 高志
サノヤス・エンテック(株)	浅尾 洋光	(株)テクノ菱和大阪支店	鈴木 俊夫
三機工業(株)関西支社	勝野 耕治	東洋工業(株)	谷本賢太郎
三建設備工業(株)大阪支店	後藤 逸文	東洋熱工業(株)大阪支店	竹田 法正
(株)三晃空調大阪本店	則直 元幸	西川設備工業(株)	関田 一也
三神工業(株)大阪支店	八坂 巖男	(株)錦	廣田 典子
三宝電機(株)	井上 清人	(株)西原衛生工業所大阪本店	高島 良一
(株)三冷社西日本支社	金子 達哉	(株)日設関西支店	古橋 誠治
(株)JR西日本テクシア大阪支店	村上 茂夫	日本管工業(株)大阪営業所	小野 直人

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
日本ファシリオ(株)大阪本店	植谷 信之	(株) 北	祥 澤村 幸雄
日本メックス(株)関西支店	谷島 錦吾	(株) 前 田 商 会	前田 隆司
(有) 原 設 備	原 良一	(株) マ サ キ 設 備	正木 康晴
日比谷総合設備(株)関西支店	荒井 泰徳	丸 住 (株)	吉田 博子
(株) 一 二 三 工 業 所	一二 健夫	美 和 設 備 工 業 (株)	栢瀬 秀樹
(株) 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	柳 生 設 備 (株)	福地 文雄
不 二 熱 学 工 業 (株)	近藤 康之	若 林 設 備 工 業 (株)	若林 豊
富士古河E&C(株)西日本支社	野崎 潤		

賛 助 会 員

(67社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器(株)大阪支店	佐竹 輝久	タカラ通商(株)	渡辺 晃
アズビル(株)ビルシステムカンパニー関西支社	石坂 芳人	(株)多久製作所建築・設備営業本部 関西グループ	古川 悠樹
アルファ・ラバル(株)大阪支社	竹次 裕佑	(株) タ ッ ノ 関 西 支 店	綿谷 健治
安 藤 (株)	安藤 康雄	(株) タブチDS本部大阪特販部	下玉利 誠
イシグロ(株)西日本営業本部	大杉 正哉	テラル(株)大阪支店	若林 聡
因幡電機産業(株)	山田 剛志	東西化学産業(株)大阪本社	河野 祐一
井下機器(株)	井下 光泰	東テク(株)大阪支店	糸満 睦夫
荏原実業(株)関西営業所	綿谷 龍一	T O T O (株)	吉田 伸典
(株)荏原製作所西大阪支店	濱 輝明	T O T O 関西販売(株)	松尾 真也
(株)オーケーエム大阪支店	野曾原康夫	東洋バルブ(株)西日本営業部	岡崎 大輔
オーケー器材(株)	山田 進一	(株)ニシテックビルシステム事業部	藪川 洋一
(株)大岩マシナリー関西支社	木下 益男	ニッケイ(株)大阪営業所	田中 広
(株)カナデン関西支社	守屋 太	日製電機(株)大阪支社	桂井 善章
川重冷熱工業(株)西日本支社	田中 宏明	ニ ッ タ (株)	鈴木 弘樹
(株)川本製作所大阪支店	三木 久雄	日本電技(株)大阪支店	八木 浩一
キタックスエンジニアリング(株)大阪営業所	西本 智彦	日本水処理工業(株)	川西 昌史
木村工機(株)大阪営業本部	登尾 公彦	(株)日阪製作所	大森 輝博
協立エアテック(株)大阪支店	津田 勇	日比谷通商(株)関西支店	芝口 薫
空研工業(株)大阪支店	秦 利治	(株)扶 洋	横田 好明
(株)古島大阪支店	宮城 弘幸	(株)ベルテクノ大阪支店	和田 修治
(株)コスタコーポレーション	白井 敏弘	北 勢 工 業 (株)	北山 秀晴
三和鋼管(株)大阪営業所	藤井 洋央	三菱電機冷熱機器販売(株)関西支社	福岡 敬史
ジョンソンコントロールズ(株)大阪支店	小玉 尚文	森松工業(株)大阪支店	堤 由幸
新晃工業(株)大阪支社	三輪 隆康	山内商事(株)	山内 雅也
(株)振興社設営	藤井 信夫	(株)大和バルブ西日本統括支店	中野 克浩
新日本美風(株)	荒牧 太郎	ヤマトヨ産業(株)本社	大野 賢二
シンテック(株)大阪営業所	田村 周治	ヤンマーエネルギーシステム(株)大阪支社	岡森 年彦
スパイダープラス(株)大阪営業所	野田 隆正	ユアサ商事(株)関西支社	森本 浩之
住友商事マシネックス(株)	福元 寿哉	(株)ユニックス大阪営業所	藤本 努
(株)ソエダ関西支店	小山 尚郎	(株)ヨシタケ 建築設備営業部西部エリア	岡馬 大輔
タイョージョイント(株)大阪営業所	後藤亮太郎	(株)LIXIL LWTJ 関西設備プロジェクト営業所	服部 洋典
(株)ダイキアクシス大阪支店	亀尾 聖二	菱電商事(株)西日本支社	山神 正志
(株)大 和	岩佐 和清	リンナイ(株)大阪支店	児玉 宅央
高井水栓(株)	高井 徹		



「ゆでガエル理論」と言うのが有る。カエルを熱い湯の中に入れてと驚いて湯の中から飛び出す、水の中に入れてゆっくりと温めてやると、最初は「イ〜湯だな！」と喜んでいる。しかし、やがてのぼせてしまい気が付いた時には熱湯から出る事が出来ず、ゆでガエルになり命を落とすと言う話だ。実験ではゆでガエルになら無いらしいが、なるほどと感心させられる話だ。

元々この話は事業環境の変化に対する企業経営の対応の難しさを表した話であるが、最近の異常気象に直面すると、地球環境問題にもピッタリと当てはまると感じられる。約30年前の国連に於けるカナダの少女による伝説のスピーチを思い起こされるし、最近ではスウェーデン人少女による、やはり国連での涙の演説も記憶に新しいところだ。

我が業界も前々から「脱炭素社会の実現」を掲げてはいるが、今まさに本気で環境問題に取り組む実践していかないと、「ゆでガエル」改め「ゆで人間」に成ってしまいかねない。

(Y. K)

久々に、自宅の庭でカエルの鳴き声を聞きました。鳴いている辺りを探してみましたが、見つめることはできませんでした。多分アマガエルだと思います。家の近くに池や川はなく、どこから来たのかは不明ですが、冬眠中に、ホームセンターで買った園芸用の土と共に、やってきたかもしれません。二三日鳴いていましたが、よその庭に行ったか、鳥に食べられてしまったか、いなくなってしまうました。

そんな可愛い訪問者ばかりでなく、最近、町内で熊の目撃情報が相次いでいます。今のところ捕

獲、駆除の指令は出ていないようです。というのも以前にも熊が出没した際に、罠で捕獲したのですが、それをどこで解放するかで自治体同士で揉め事となり、結局ボランティアが引取り、飼育される事になり、現在も飼育中です。

今回は熊が去るのを、ひたすら待ち続けるみたいです。

(J. N)

梅雨なのに雨が降らずに猛暑日・梅雨明けすると大気不安定による連日の豪雨・節電を呼びかける一方で、熱中症対策としてエアコンの運転を奨励・コロナ感染対策のマスク着用も屋外では外して可。

このところ、これまでの経験に相反する事象や奨励に戸惑い気味である。

決定的な価値観の喪失は、ロシアのウクライナ侵攻（まさかこのご時世に侵略戦争が行われるとは?）。

不透明で何を信じて良いのか分かりづらい世の中ではありますが、2025年の大阪万博まで再開発を含む大規模建設ラッシュを経済の活性化と信じ、DXによる業務効率向上と働き方改革による建設業への就労者が増える事を願う今日この頃です。

(Y. A)

大空衛 第91号

令和4年7月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会
〒541-0052

大阪市中央区安土町1丁目7番20号

新トヤマビル3階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail: osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 株式会社ミラテック



一般
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

機関誌 第91号(夏季号)